

地区委員会代表研修会



地区委員会代表研修会

「自分流の国際協力」～アフリカでの青少年育成に携わって～と題して、Grandir (グランディール) のファシリテーターで青年海外協力協会・開発教育担当の原万紀子さんに講演をいただきました。ジンバブエ共和国でスポーツ担当官として過ごした1年半の活動をエネルギッシュに語っていただきました。

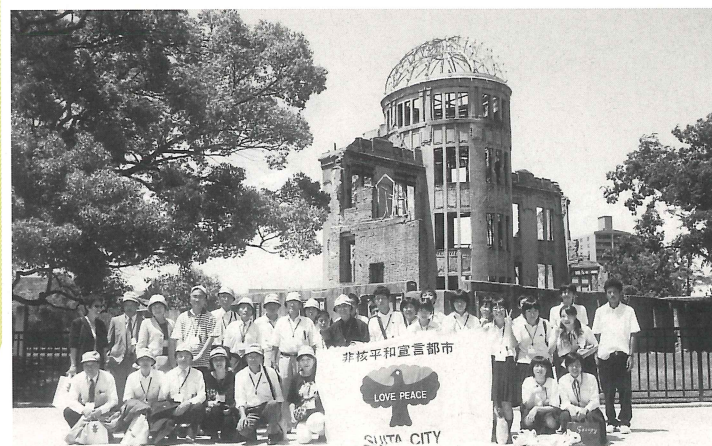
また、「広島平和大使」の派遣報告会を行い、団長の内野善弘さんから報告がありました。

憲法と市民のつどい

5月24日(土)メイシアター中ホールにおいて「憲法と市民のつどい」を開催しました。テレビ・ラジオ番組でおなじみの三瀬顕さんに『やさしさの嘘』と題して講演いただきました。昨今の社会問題を例にあげながら、法律のまめ知識や「本当の幸せ」について気さくな語り口で話されました。また、コンサート「沖縄からの南風」では、『寿』のお二人の歌と演奏に会場が1つとなりました。



広島平和大使



吹田市は今年度「非核平和都市宣言」20周年を記念し、宣言に盛り込まれた核兵器廃絶と世界の恒久平和実現への願いを込めて、市民の代表を広島市へ派遣し、平和記念式典への参列などを通して、核兵器の恐ろしさと平和の尊さを考えていただく機会とすることを目的に「広島平和大使」という事業を実施しました。市内、全中学校からの代表生徒18名とともに、市民を代表し参加しました。

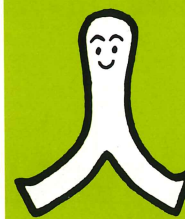
催し・研修会ご案内

◆「2003人権フェスティバル」

日時 12月7日(日)午後1時30分～
場所 吹田市文化会館(メイシアター)中ホール
内容 ・セレモニー：市長・議長挨拶/来賓紹介
・人権のための絵本コンテスト表彰式
・講演「こころ」講師 藤本義一さん(作家)
吹田市制作ドラマ「お母さんの顔が見える」上映
・トウバ喉歌(フォーメイ)コンサート
等々力政彦さん

発行／吹田市人権啓発推進協議会
〒564-8550 吹田市泉町1-3-40
☎(06)6384-1231(代)内線2595～8
FAX (06)6368-7345(直通)

(再生紙を使用しています)



吹田市
人権協だより



じんけんネット吹田

No. 15

平成15年(2003年)11月

9月1日「共に生きる社会をめざして」
～在日コリアンの立場から～
李 美葉さん



9月18日「ジャズから学ぶ人権」
～黒人差別の歴史とともに～
嶋本 高之さん



9月24日「気づいたら、どうする？」
～慣習と人権～
加藤 敏明さん



10月1日「福祉は文化」
～地域で老いを支える～
衣川 哲夫さん



2003年市民ひゅーまんセミナー

会場：メイシアター 小ホール

9月1日から4回にわたって行いました「2003市民ひゅーまんセミナー」は、今年も各回100名以上の参加者のもと、さまざまな人権上の課題について、専門の立場から、あるいは体験を通しての講演をいただき、充実したセミナーとなりました。その中から9月18日に行われた「ジャズから学ぶ人権」～黒人差別の歴史とともに～を紹介します。

往年の名曲『エンターティナー』の演奏でセミナーは始まりました。トランペット奏者の嶋本高之さんが、ジャズ音楽の成り立ちやアメリカにおける黒人差別の変遷を紹介しながら、ピアノ(生田さん)、ベース(時安さん)、ドラム(樋口さん)とともに息の合った演奏が進行すると、会場の皆さんも自然とリズムに乗り、笑顔や拍手が沸き起こりました。参加者からは、「人権とジャズの関わりを新鮮な切り口で学べた」「ジャズの歴史を通じてアメリカ大陸の人権問題にふれることができた」などの感想が数多く寄せられました。



(山五地区委員会)

講演会「見えますか、やさしい心」 ～木村佳友さんと介助犬シンシア～

5月17日(土) 公民館・小学校と共催のもと、465名の出席で開催しました。今年で3回目を迎える地域を挙げてのこの取り組みは、障害者への理解と共生の心を育む人権意識の高揚を目的とし、今年も多く的小学生や地域住民が参加する講演会となりました。木村さんとシンシアの行動を目の当たりにして、介助犬の日常生活における人との関わり方を学習することができました。参加児童(山五小・5年生 明星杏奈さん)の感想文を紹介して、まとめとします。

「介助犬の事は、よく知らなかったけれど、シンシアはとても厳しいトレーニングを続けて介助犬になったんだなあと思いました。シンシアが、木村さんの手足の役目をしていてくれるから、木村さんにとって、シンシアは、かけがえのない存在で、シンシアにとっても同じだと思いました。」

(山五地区委員会 笠井 万造)



(吹二・吹南地区委員会)

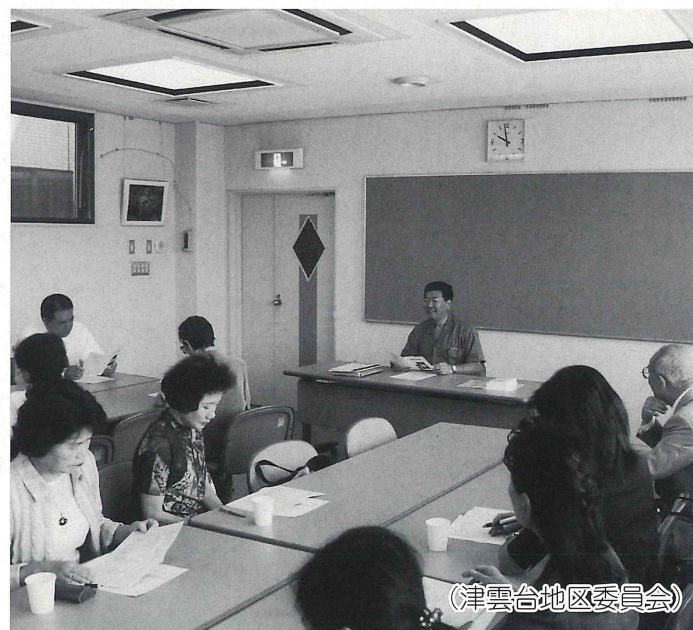
人権問題の原点に学ぶ 「水平社博物館」見学会

吹二・吹南地区委員会は、7月5日(土)に今年度の現地研修会を実施し、午前中は御所市の「奈良水平社博物館」、午後は橿原市の「大久保まちづくり館」を訪れました。

水平社博物館は、今回、リニューアル後の再訪となりますが、新しく設置されたジオラマによって、部落解放運動の原点である水平社設立について、より詳しい情報が提供されていました。また、大久保まちづくり館では、天皇陵設置による町の強制移転の歴史と、その後の町づくり運動の経緯と成果について知りました。

ともに不条理な被差別の状況とそこから立ち上がった人々の運動の歴史を顕示している場であり、常に人権問題への感性を保つため、また原点に学ぶという意味から再訪も意義あることと実感しました。

(吹二地区委員会 久野 利夫)



(津雲台地区委員会)

「浪速少年院」見学会

9月4日(木) 施設見学会を開催、浪速少年院を訪問した。到着後、施設の概要、教育目標、職業訓練による資格取得などの説明や少年非行の動向とその処遇についての詳細を聞かせていただいた。その後、施設内を見学したが、施設や設備などはよく整備されており、職業訓練で一生懸命に頑張っている姿、見事なまでに礼儀正しく、けじめのある環境の中にいる少年たちを見て、社会復帰後もこのままであってほしいと、そう願わずにはいられなかった。また、生活をともにしている職員の方々はピュアな心と相当な思いやりをもって、この責任ある仕事を全うされていると感じた。そして非行や犯罪の背景、社会や大人の責任を深く考えるとともに、非行や犯罪のもとには必ず被害者がいることを忘れてはならないと再認識した。

少年院にいる少年たちや職員の方々に接して、『基本的人権は、すべての人間に等しく与えられたものである』ことを痛感すると同時に、少年たちが健やかに育ち、立派な社会人として自立してくれることを祈りたい。

(津雲台地区委員会 喜多 佑実)

ひとふれあい

人権啓発研修会 「吹田市就労支援事業の取り組みについて」

6月16日(月)、企業人として不可欠な人権感覚の研鑽を目的に、今年度2回目の人権啓発研修会を吹田市きしべ地域人権協会会長藤原修身さんをお願いし、「吹田市就労支援事業の取り組みについて」と題してご講演いただきました。現在行っておられる就労のための、いろいろな講座や訓練について真摯な取り組みをお話いただきました。

企業にとって最大の財産は「人」といわれますが、今回のお話を受け、「応募者の適性・能力を基準にする」ことや「応募者に広く門戸を開く」などの人権尊重の精神を再認識させられるご講演でした。これからも従前に増して一層の啓発をし、企業人の社会的責任として人権問題の正しい理解に努めてまいりたいと思います。

(協力企業部会 近藤 高廣)



(竹見台・南竹見台地区委員会)

開校記念 「地域世代交流もちつき大会」

4月20日(日) 千里たけみ小学校開校を祝い、地域をあげてのもちつき大会が旧竹見台小学校の体育館に於いて開催されました。総勢200名を越すスタッフのお手伝いを頂き、おもちをつく・まるめる等の各係りに分かれて、180キロの餅米をつきました。

小学校の先生方の協力により、子ども達は杵の持ち方やつき方を教えてもらいました。初めての体験する子どもたちもいたようです。

三世代の家族連れの方々も、話し合いながらお椀を手に手に、各コーナーをまわってたくさんおもちを食べていました。場内は、開校を祝い、熱気に包まれ、たいへん盛り上がりました。児童の前途を祝福しようと600名近くの方々に参加して頂き、大盛況裏に終わることができました。この活動によって、地域の連帯意識が高まり、人権意識の高揚が図れたことに感謝しています。

(南竹見台地区委員会 塩見 孝子)



(協力企業部会)